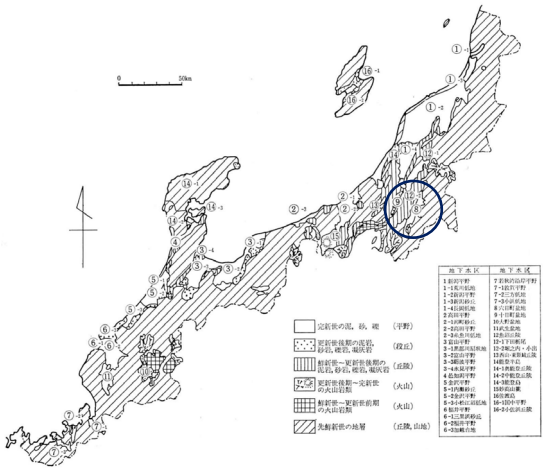
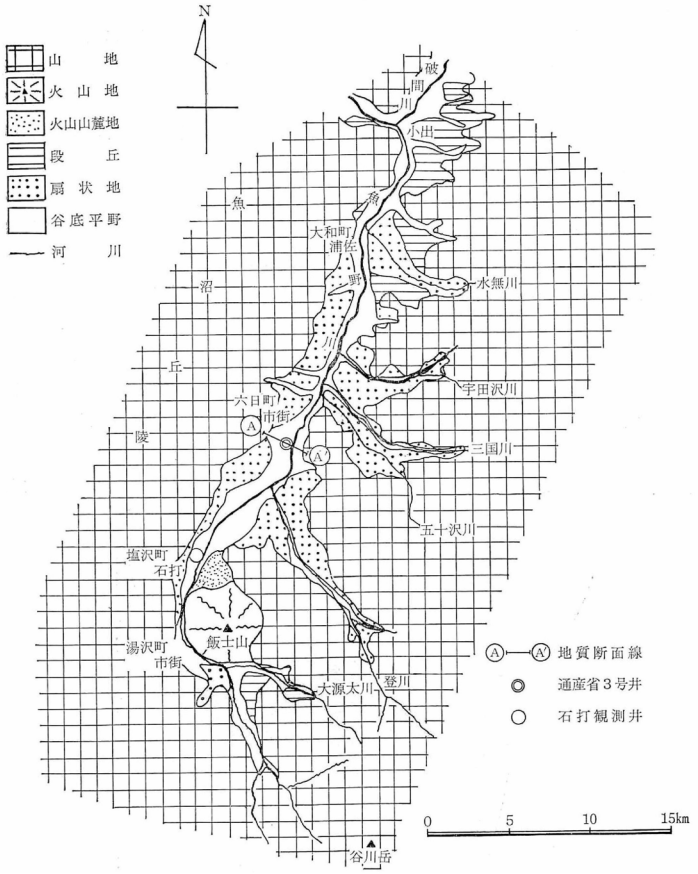
8.六日町盆地



地形・地質

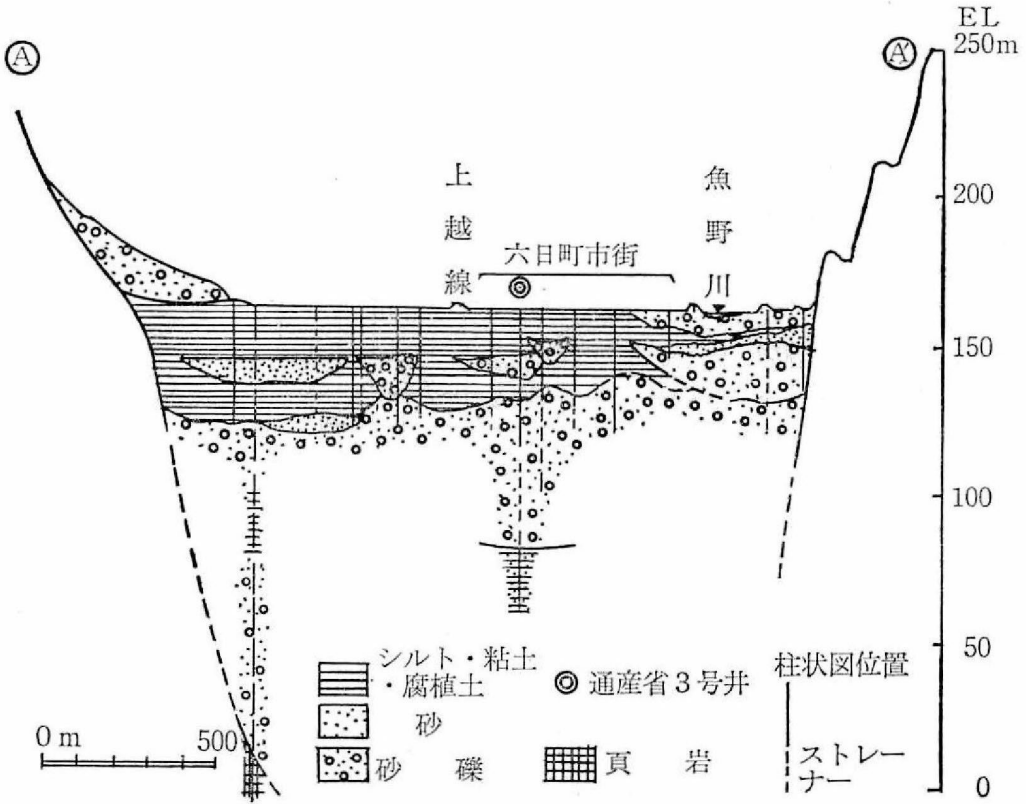
六日町盆地は新潟県の東南に位置し，信濃川の支川魚野川に沿った南北に狭長な盆地です。魚野川右岸側は大規模な扇状地が発達し，左岸側は小規模な扇状地が盆地に沿って連続して分布します。盆地内部には砂礫を中心とした厚い地層が分布します。



六日町盆地の地形区分図

地下水

取水対象となっているのは扇状地の地下水で，一般に不圧地下水ですが，粘土層の発達する地域では被圧地下水となっています。地下水は主に消雪用に利用しています。



扇状地地下水
- 湯沢地区（魚野川・大源太川）
- 塩沢・六日町南部地区（登川・魚野川）
- 六日町北部地区（三国川・宇田沢川）
- 大和地区（水無川）

丘陵地下水　魚沼層群砂礫（魚沼丘陵）

山地地下水（裂か水）
- 飯士山火山噴出物
- 第三系火山砕屑物
- 花崗岩，閃緑岩体

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）